

ZENRIN

証券コード：9474

2021年3月期 決算説明資料

2021年5月21日

- 2021年3月期決算総括と2022年3月期の取り組み
- Appendix

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

2021年3月期決算総括と2022年3月期の取り組み

- 1) 総括
- 2) 2021年3月期 決算概要
- 3) 2022年3月期 通期業績予想
- 4) 2022年3月期の取り組み

1) 総括（これまでの取り組み）

2021年3月期は、6カ年の中長期経営計画「ZENRIN GROWTH PLAN 2025（ZGP25）」の2年目
将来の安定成長を目指すため、「ビジネスモデル変革時期」と位置づけ、具体的施策を実行

「ビジネスモデル変革時期」

ビジネスモデルを適切に使い分け、顧客価値増大と収益基盤強化

ありたい姿の実現
位置情報と流通情報を
最適化して価値創造

1stステージ(3期間)

2ndステージ(3期間)

2020年3月期

2021年3月期

2022年3月期

2023年

2024年

2025年3月期

【1stステージの取り組み】

■収益の安定化

➢フロー型からストック型へのビジネスモデルの転換

■成長分野への先行投資

➢自動運転、MaaS、ドローン等、新たなビジネス分野への取り組み継続

■事業基盤の構築

- 多様なサービスに対応するためのサービス基盤開発投資
- 整備技術の高度化による既存整備コストの削減を継続
- 事業基盤強化に向けたアライアンス強化

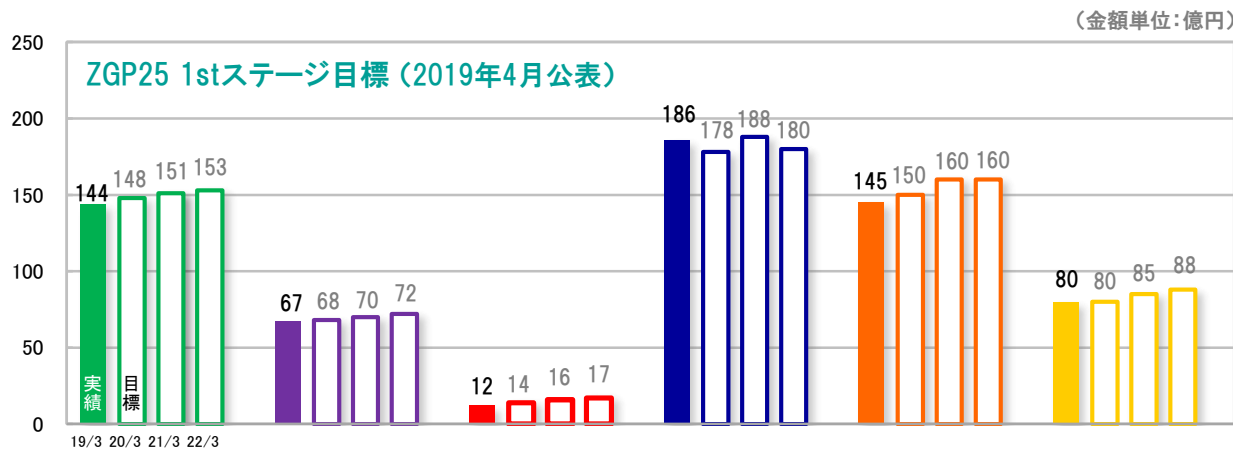
2ndステージ
目標値・具体的施策を策定
(2022年3月期)

【外部環境】

コロナパンデミック
消費税10%
半導体不足
・オリンピック・パラリンピック延期

1) 総括（事業別売上高推移）

プロダクト事業、公共ソリューション事業は順調に推移するも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、オートモーティブ事業、IoT事業、マーケティングソリューション事業でZGP25の進捗に遅れ



【プロダクト事業】

GISパッケージ等ストック型サービスが伸長

【公共ソリューション事業】

自治体への地図データ提供、受託案件が好調

【オートモーティブ事業】

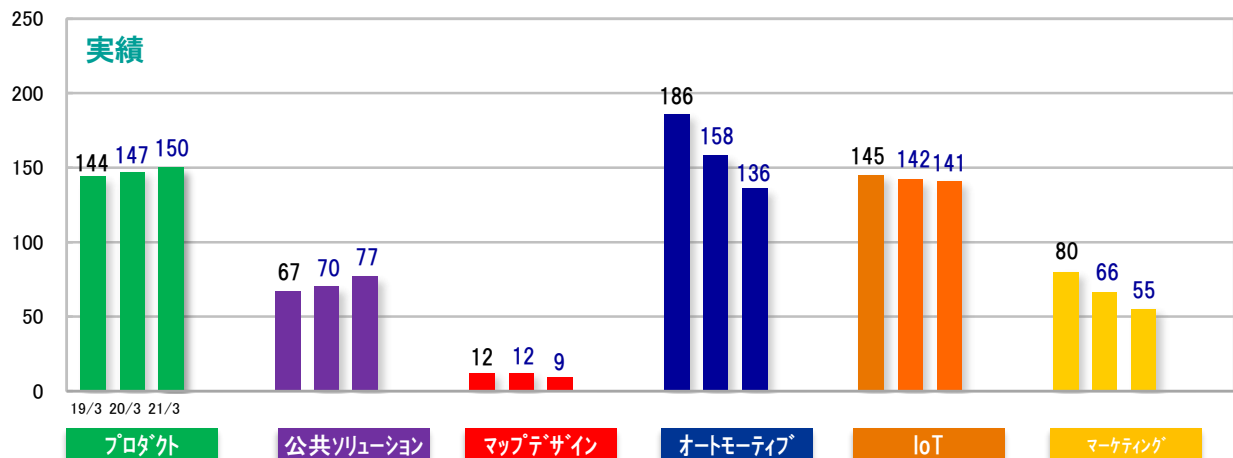
市場環境の悪化、世界的な半導体不足等により、新車販売台数が減少し、カーナビ向けデータ販売が大幅減少、自動運転一般道向けのビジネス及びサービスモデル変革は遅延

【IoT事業】

プラットフォームとの契約終了、コロナ禍での営業活動の制限による新規顧客開拓の遅延、顧客の新規設備投資規模縮小や延期の影響

【マーケティングソリューション事業】

取引先のイベントや販促活動の縮小の影響

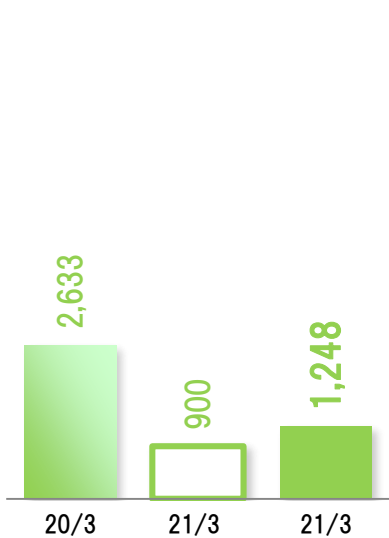
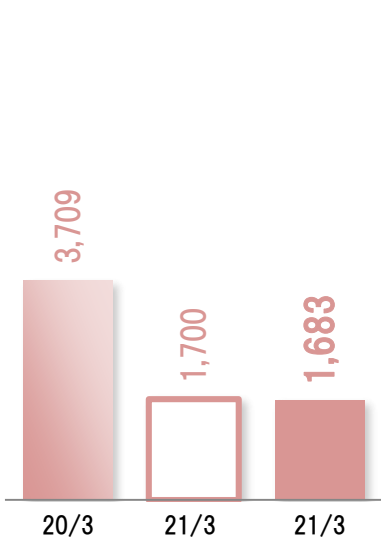
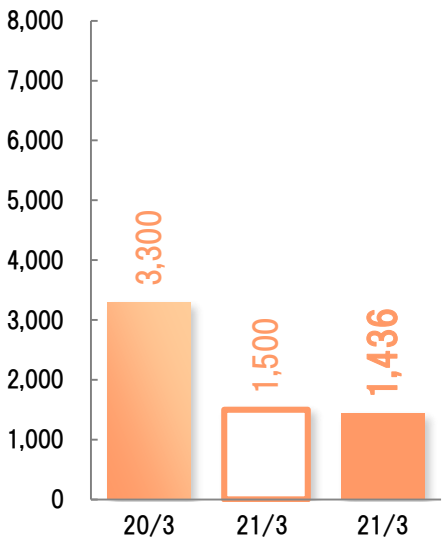
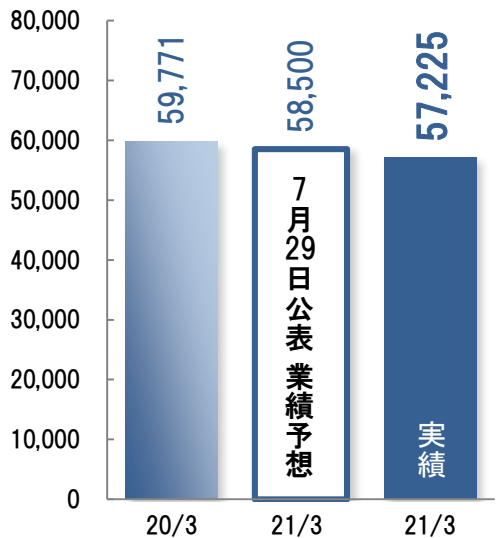


2) 2021年3月期 決算概要

2021年3月期 決算 : 前期比【減収減益】

(金額単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	57,225	1,436	1,683	1,248
前期比	△2,545 (△4.3%)	△1,863(△56.5%)	△2,025 (△54.6%)	△1,384 (△52.6%)
予想比	△1,274 (△2.2%)	△63 (△4.2%)	△16 (△0.9%)	+348 (+38.8%)



■コロナ禍での市場環境悪化等の影響を受け、売上高は2期連続減収

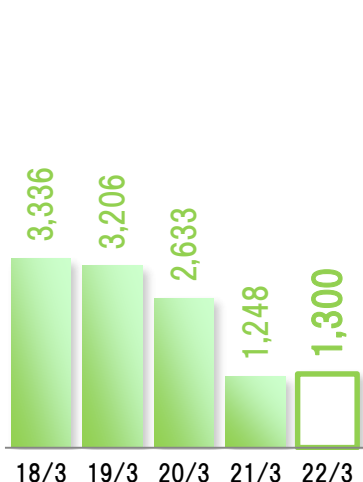
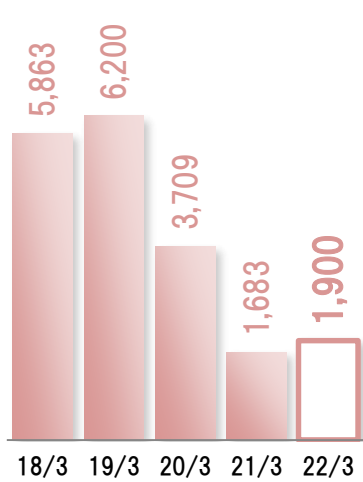
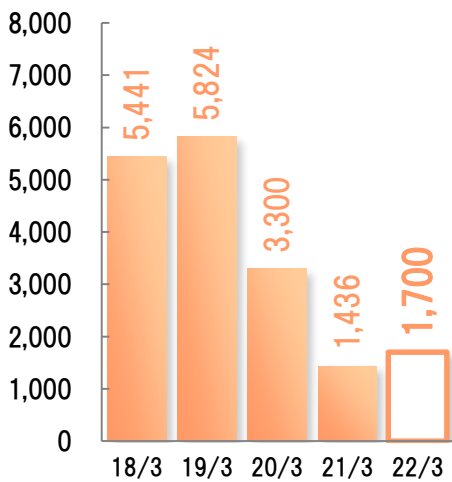
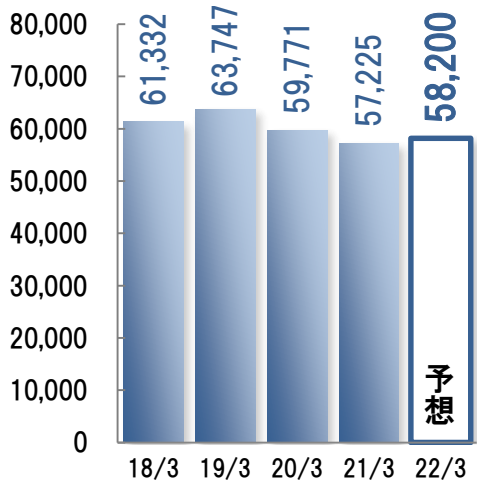
■損益面では、業績連動賞与の減少やコロナ禍での営業活動の制限等により営業費用は減少したが、減収による影響のほか、新規サービスなどの先行費用計上等により、営業利益、経常利益は2期連続、親会社株主に帰属する当期純利益は3期連続の減益

3) 2022年3月期 通期業績予想

2022年3月期 通期業績予想 : 前期比【増収増益】

(金額単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	58,200	1,700	1,900	1,300
前期比	+974 (+1.7%)	+263 (+18.3%)	+216 (+12.8%)	+51 (+4.1%)



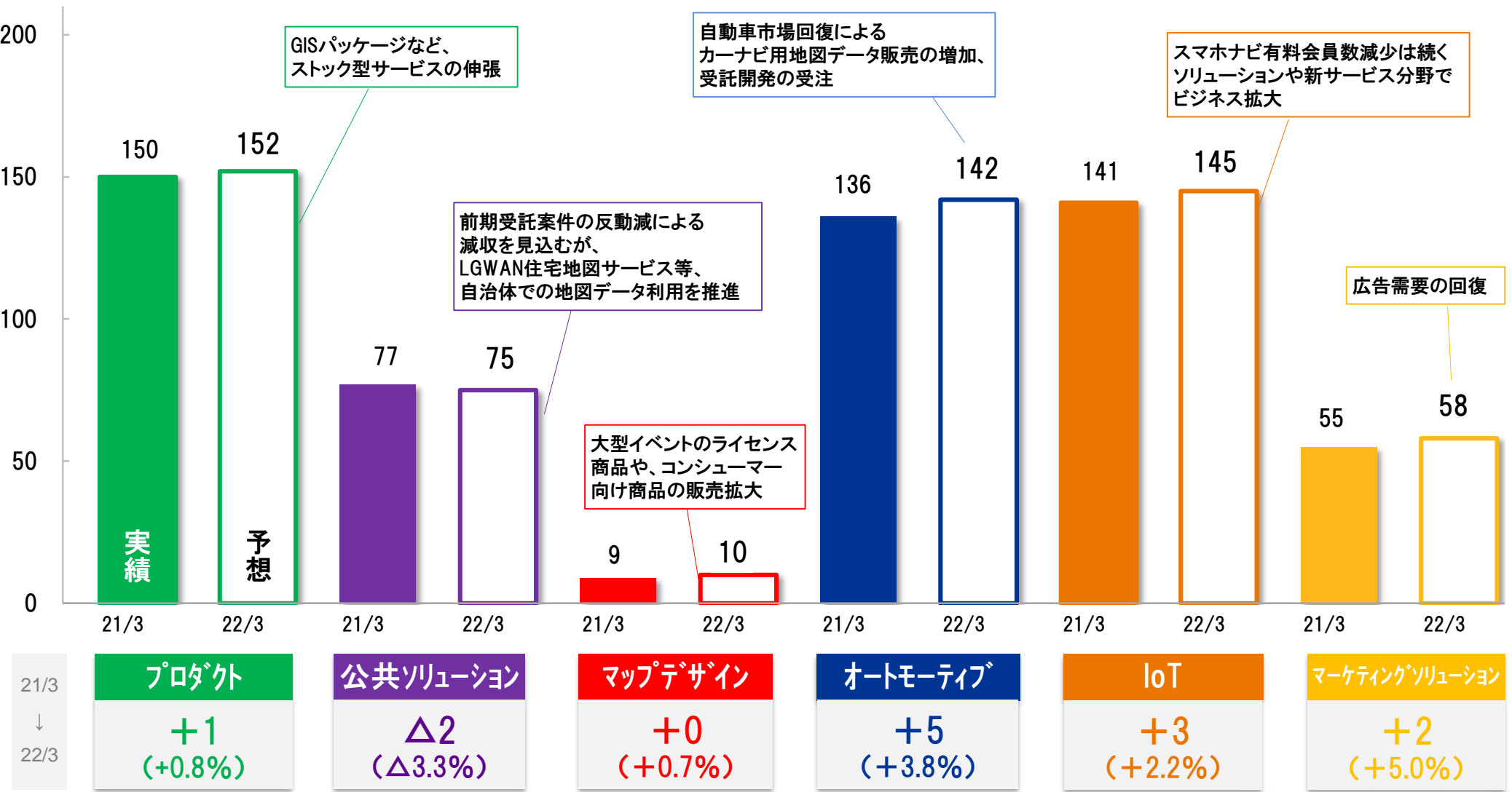
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止策による景気の持ち直しの期待感はあるが、緊急事態宣言の延長など、社会経済活動への影響が長期化する懸念
- フロー型からストック型へのビジネスモデル転換のための商品企画やサービス基盤の構築を推進する
- 2022年3月期期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用する為、通期連結業績予想における売上高は、これまでの計上方法と比較して10億円程度減少する見込み（損益への影響は軽微となる見込み）

※2022年3月期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用した数値となっています。2021年3月期以前の数値には適用していません。

3) 2022年3月期 通期業績予想（事業別売上高予想）

2021年3月期 決算説明資料

（金額単位：億円）



※2022年3月期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用した数値となっています。2021年3月期の数値には適用していません。

4) 2022年3月期の取り組み（ビジネスモデル変革）

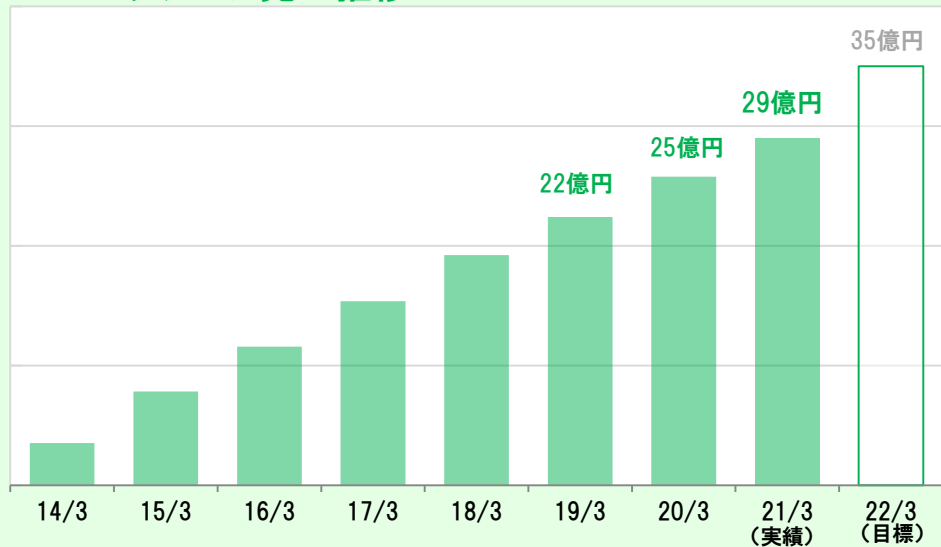
2021年3月期 決算説明資料

フロー型からストック型へのビジネスモデルの転換を引き続き推進

■プロダクト事業のストック型ビジネスの売上比率は
4割を超え、安定収益基盤へと成長

- ゼンリンGISパッケージシリーズのサービスを充実し、さらなる拡販を目指す

GISパッケージ売上推移



■各事業でもストック型への取り組みを推進

- 公共ソリューション事業
自治体向けサービス「ゼンリン住宅地図LGWAN」
- マップデザイン事業
道の駅ファン向けの会員制サービス「道ゆき」
- オートモーティブ事業
自動車のコネクテッド化に対応した更新ビジネスを提案
- IoT事業
ソリューションビジネスのストック化を推進
- マーケティングソリューション事業
中小個店向け販促ツール「らくらく販促マップ」

4) 2022年3月期の取り組み (MaaSビジネス)

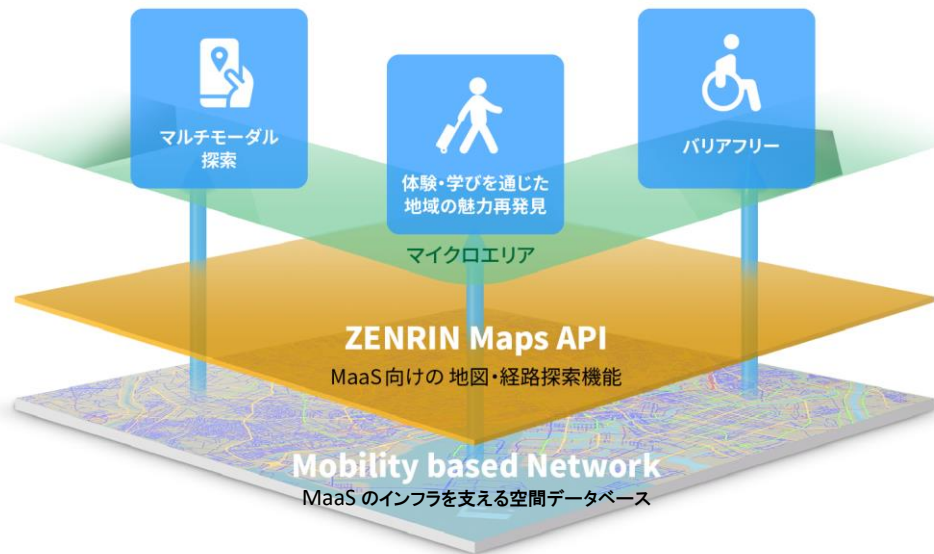
2021年3月期 決算説明資料

マイクロMaaSソリューション

ゼンリンが取り組むMaaSビジネスの一つとして、マイクロMaaSソリューションを提案
ゼンリンは、日本全国の駅周辺や、目的地までのラストワンマイルのエリアなど、狭域な地域(マイクロエリア)が抱える様々な課題に着目し、「移動情報」と「地図情報」を活用して解決することで、あらゆる地域の活性化に貢献することを目指す

マイクロエリアの課題を解決するための空間情報を提供

マイクロMaaSソリューション



1つの空間上であらゆるモビリティを可視化する「Mobility based Network」

自動車用ネットワーク、鉄道路線、駅構内通路、歩行者用ネットワークなど、移動に必要なあらゆるネットワークを組み込み、各ネットワークが交通結節点で接続することにより、MaaSに最適化された基盤データベースを提供

事例:長崎市にて観光型MaaSの実証実験

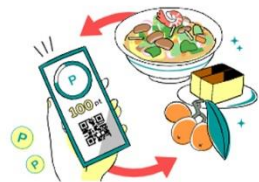
長崎市の歴史・文化などの観光情報と公共交通サービスをデジタル化して、スマートフォンアプリを介して提供する観光型MaaSの実証実験を2021年度より開始予定。
長崎市内の各観光エリア間の移動を喚起するためのストーリー型コンテンツと公共交通サービス・民間サービスを連携させることにより、人の行動を地域活性化につなげることを目指す。



長崎の魅力を再発見できる
おでかけアプリ



観光チケットで
お得にながさき旅



ポイントをためて
お土産と交換

4) 2022年3月期の取り組み（事業基盤の強化）

2021年3月期 決算説明資料

IoT/AI 社会におけるデジタルツイン(※)の位置基点「高度地理空間情報データベース」 NTTインフラネット社と共同整備で業務提携



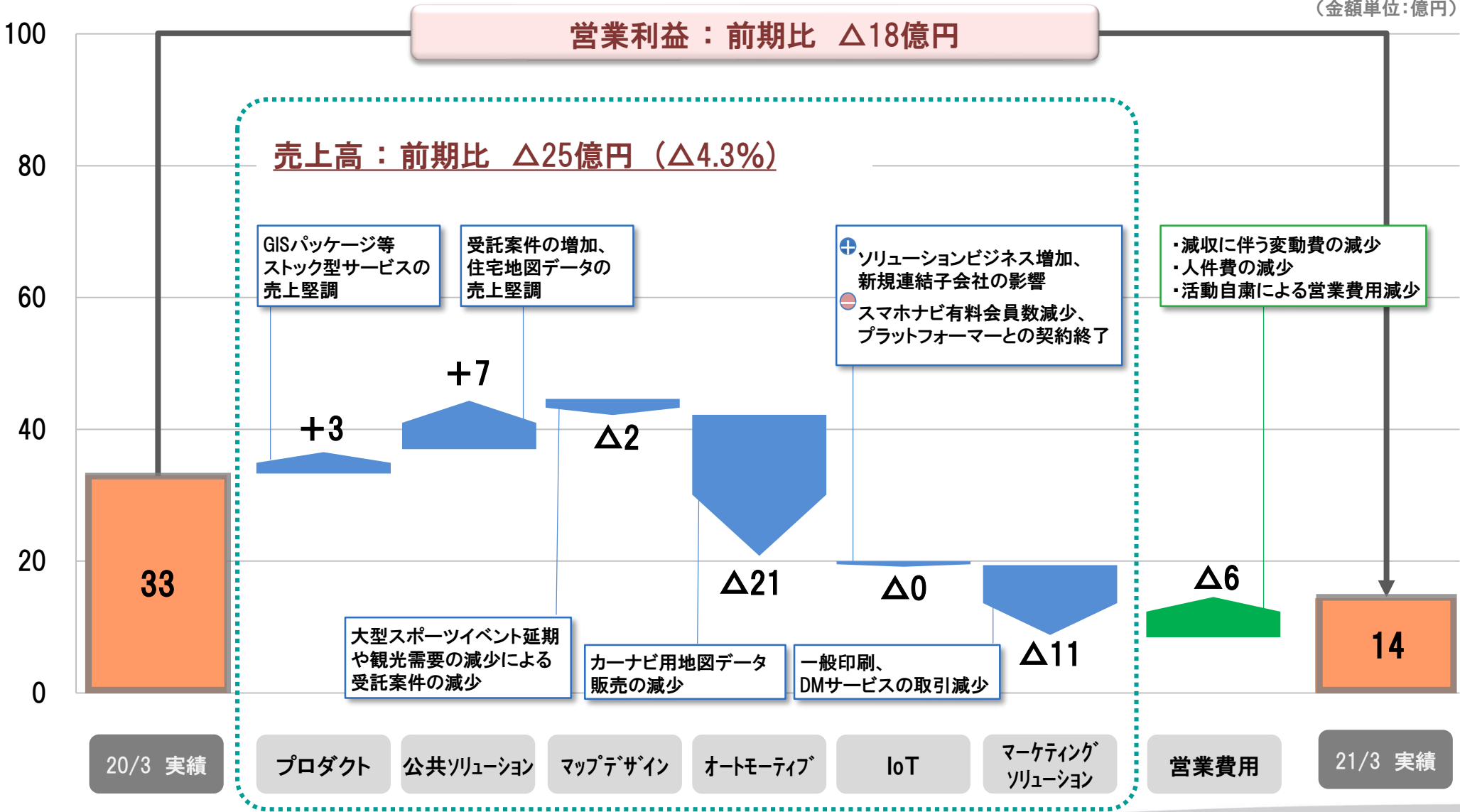
※1 デジタルツイン…現実世界をサイバー空間上に再現し、さまざまなデータを取り込むことで、現実世界の事象をシミュレーションする環境・技術
※2 高度地理空間情報データベース構築のため2020年3月26日にゼンリンとNTTは資本業務提携契約を締結

Appendix

- 1) 営業利益増減要因
- 2) 事業別概況
- 3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 4) 配当金
- 5) 自己株式取得
- 6) キャッシュ・フロー推移
- 7) 四半期売上高構成比推移
- 8) セグメント情報
- 9) 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

1) 営業利益増減要因 (前期比)

(金額単位: 億円)



2) 事業別概況:プロダクト事業

ZGP25 1stステージ目標

ライセンスビジネスの伸張によりストック型売上比率を50%に拡大

■2021年3月期実績 150億円(前期比+3億円)

GISパッケージ等のストック型サービスの売上が
堅調に推移し、前期比増収
(ストック型の売上：61期 約4割)

■2022年3月期の取り組み

引き続きストック型ビジネスへの転換を推進

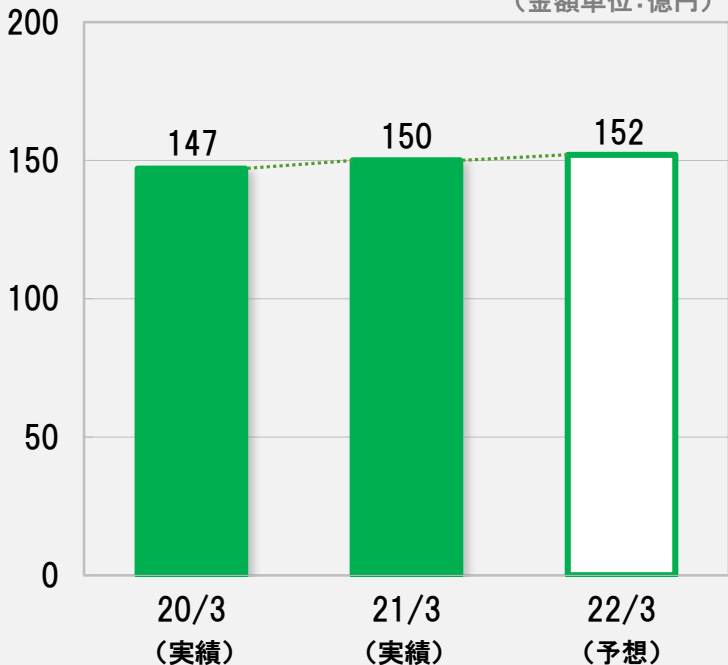
ストック型ビジネスで安定収益基盤に成長

GISパッケージ売上推移



売上実績と1stステージ最終年度予想

(金額単位: 億円)



WEB

「ZENRIN GISパッケージ」について

<https://www.zenrin.co.jp/product/category/gis/package/>

※2022年3月期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用した数値となっています。
2021年3月期以前の数値には適用していません。(以降のページも同様)

2) 事業別概況：公共ソリューション事業

ZGP25 1stステージ目標

自治体の地図プラットフォームとして住宅地図利用が1,000自治体に拡大

■2021年3月期実績 77億円(前期比+7億円)

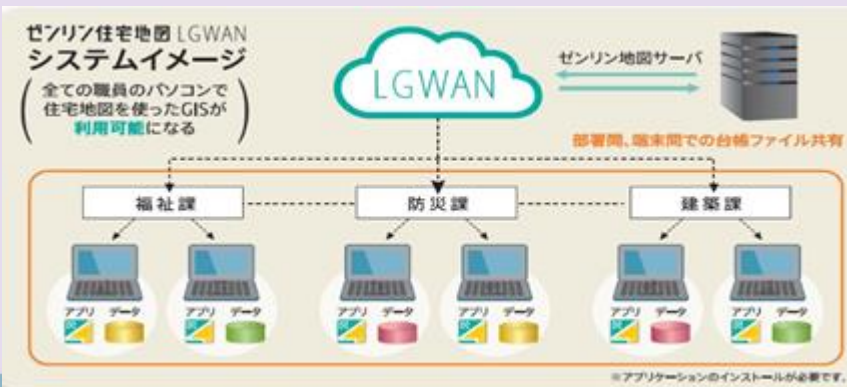
国勢調査や防災関連などの受託案件や、GIS製品の取引が堅調に推移し、前期比増収(住宅地図データ利用は、980自治体に拡大)

■2022年3月期の取り組み

「ゼンリン住宅地図LGWAN」の推進、自治体の地図プラットフォーム化を促進する為の新サービスを提案

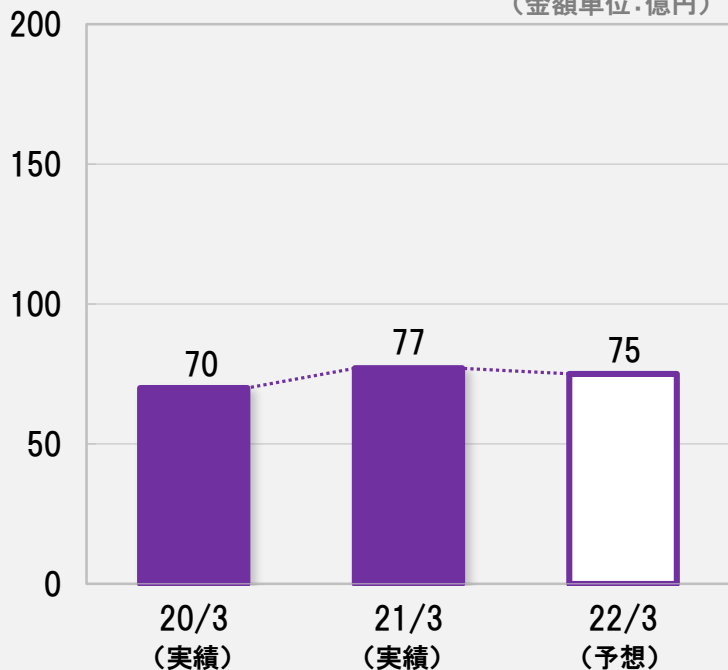
【ゼンリン住宅地図LGWANとは】

LGWAN(行政機関専用のネットワーク)対応のクラウド型住宅地図サービス。自治体業務における住宅地図の活用をより効果的にするために豊富な機能をパッケージとして提供



売上実績と1stステージ最終年度予想

(金額単位：億円)



WEB

自治体の取り組みについて

<https://www.zenrin.co.jp/product/industry/municipality/>

2) 事業別概況: マップデザイン事業

ZGP25 1stステージ目標

具体的ターゲットと地図デザイン商品でコンシューマー市場の立ち上げ

■2021年3月期実績 9億円(前期比△2億円)

大型スポーツイベントの延期や観光需要の減少による受託案件等の規模縮小

■ 2022年3月期の取り組み

- ・マップデザイン商品の開発、市場投入
- ・会員制サービス「道ゆき」スタート

【Topic】 “道の駅を記録し、記憶に残す”

新サービス「道ゆき」4月22日(木)より提供開始

“道の駅ファン”の皆さまに、道の駅めぐり旅をもっと楽しんでもいただくための新サービスとして、「道ゆき」を開始。

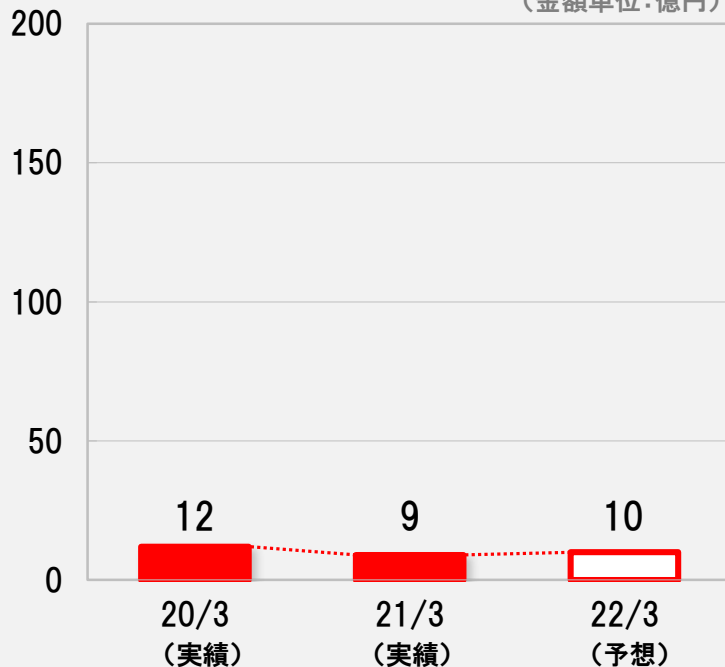
「道ゆき」は、書籍、スマホアプリ、WEB サービス等を通して道の駅めぐり旅をサポートする会員制のサービスで、旅前のプラン作成や旅中の記録から、

旅後の記録の編集・公開までをトータルでサポート。全国の道の駅の詳細情報を収録したロードマップを20年間にわたり発行してきた当社だからこそ提供できるサービスです。



売上実績と1stステージ最終年度予想

(金額単位: 億円)



WEB

「道ゆき」について

<https://www.zenrin.co.jp/product/category/michinoeki/michiyuki/>

2) 事業別概況: オートモーティブ事業

ZGP25 1stステージ目標

当社サービスモデルの採用による新たな安定収益基盤を創造

■2021年3月期実績 136億円(前期比△21億円)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による市場環境の悪化や半導体不足の影響等により、カーナビ向けデータ販売の減少、受託案件の規模縮小で大幅減収

■2022年3月期の取り組み

- ・カーナビ用データ市場のシェア維持と拡大
- ・ADAS/自動運転関連の取り組み継続
- ・コネクテッド化に対応した更新ビジネスの提案

【Topic】2019年の日産自動車に続き、Hondaにも採用！

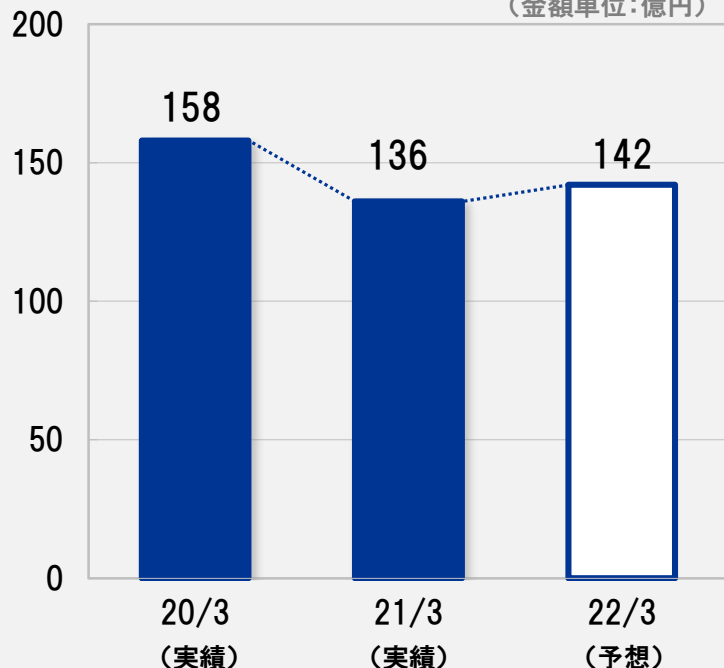
ゼンリンの「3D高精度地図データ」が、Hondaの世界初の自動運転レベル3を実現する「Honda SENSING Elite」を搭載した「LEGEND」に採用

<「3D高精度地図データ」概要>

ゼンリンの3D高精度地図データは、ダイナミックマップ基盤(株)の国内高速道路・自動車専用道路の3次元地図共通基盤データをベースに、ゼンリンが独自に収集・整備した情報を加えた地図データ。車両に搭載されたその他センサー類と組み合わせて使用することで、車両の周囲360度の情報と道路上の正確な位置の把握や、車両速度の制御やレーンごとの走行ルートの計画も可能に。

売上実績と1stステージ最終年度予想

(金額単位: 億円)



WEB

次世代自動車向け“CASE”ソリューション

<https://www.zenrin.co.jp/ssolutions/case/>

2) 事業別概況:IoT事業

ZGP25 1stステージ目標

位置情報が利用される新規プラットフォームでのシェア拡大

■2021年3月期実績 141億円(前期比△0億円)

スマートフォン向けサービスの有料会員数の減少、プラットフォームとの契約終了の減収要因はあったものの、大手企業向けのソリューションビジネスが増加し、前期並みで推移

■2022年3月期の取り組み

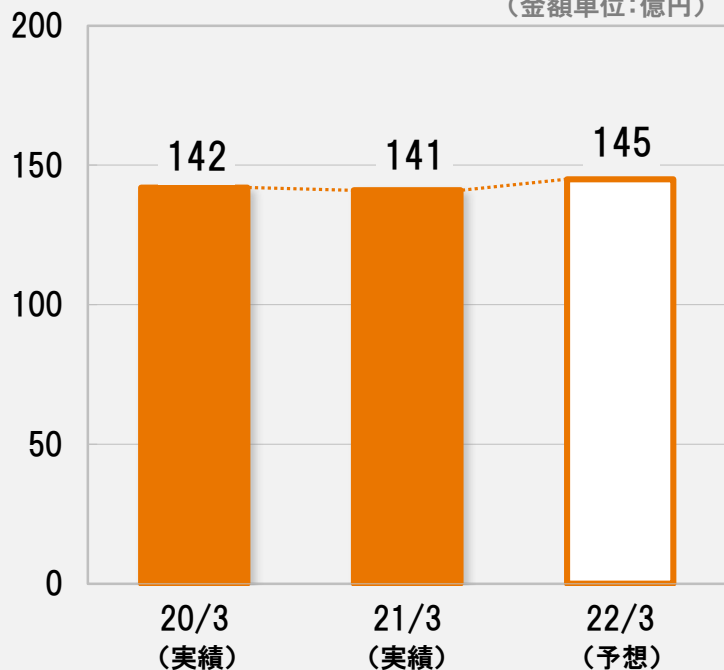
- ・当社の時空間データベースを活用するためのAPI「ZENRIN Maps API」による業界ソリューションの拡販
- ・MaaSビジネスの収益化への取り組み

【Topic】MaaSの取り組み事例

- 長崎市にて観光型MaaSの実証実験
長崎市の歴史・文化などの観光情報と公共交通サービスをデジタル化して、スマートフォンアプリを介して提供する観光型MaaSの実証実験を2021年度より開始予定
- 沖縄全域における観光型MaaS実証事業
「沖縄全域における観光型MaaS実証事業」を、2020年12月から実施中

売上実績と1stステージ最終年度予想

(金額単位:億円)



WEB

ゼンリンの「マイクロMaaSソリューション」

<https://www.zenrin.co.jp/product/category/iot/maas/>

2) 事業別概況:マーケティングソリューション事業

2021年3月期 決算説明資料

ZGP25 1stステージ目標

マーケティング支援市場に新サービス投入

■2021年3月期実績 55億円(前期比△11億円)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により
取引先のイベントや販促活動が縮小し、前期比減収

■2022年3月期の取り組み

- ・らくらく販促マップ等のストック型サービス拡大
- ・新サービスの開発推進

【らくらく販促マップとは】

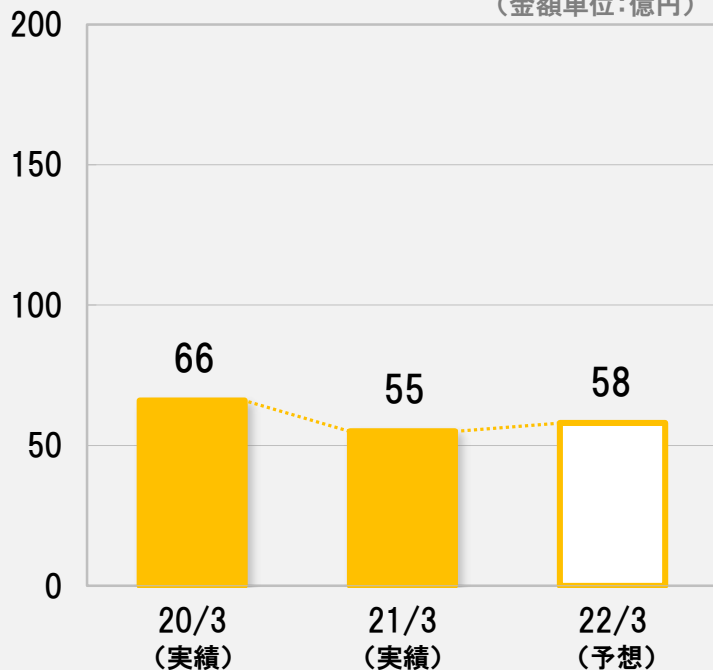
簡単な操作で実行できるクラウド型販促支援ツール。
月額1,100円で利用できる中小個店向けのストック型サービス

- 特徴
- ・地図上で販促計画を検討
 - ・豊富なテンプレートから選んで簡単にチラシを作成
 - ・配達や配布作業における詳細な地図の確認



売上実績と1stステージ最終年度予想

(金額単位: 億円)



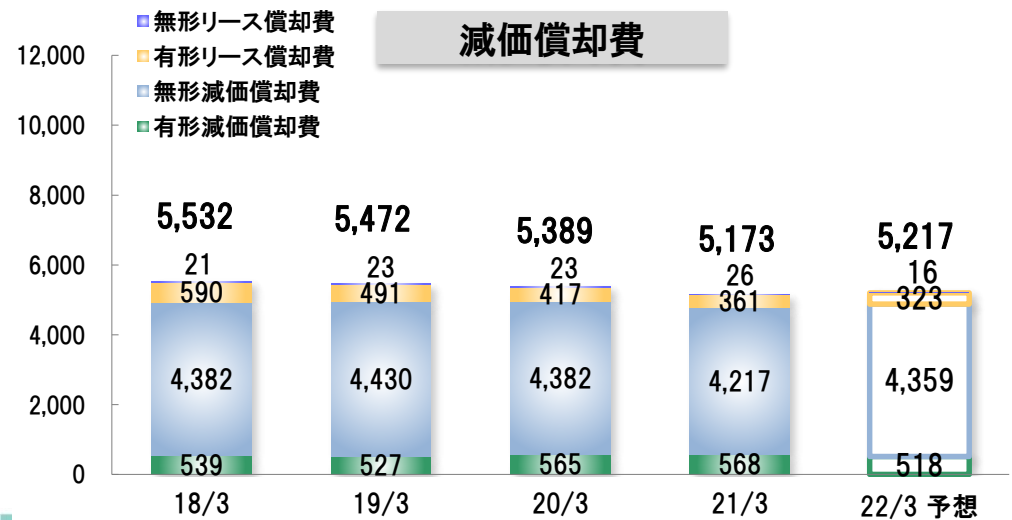
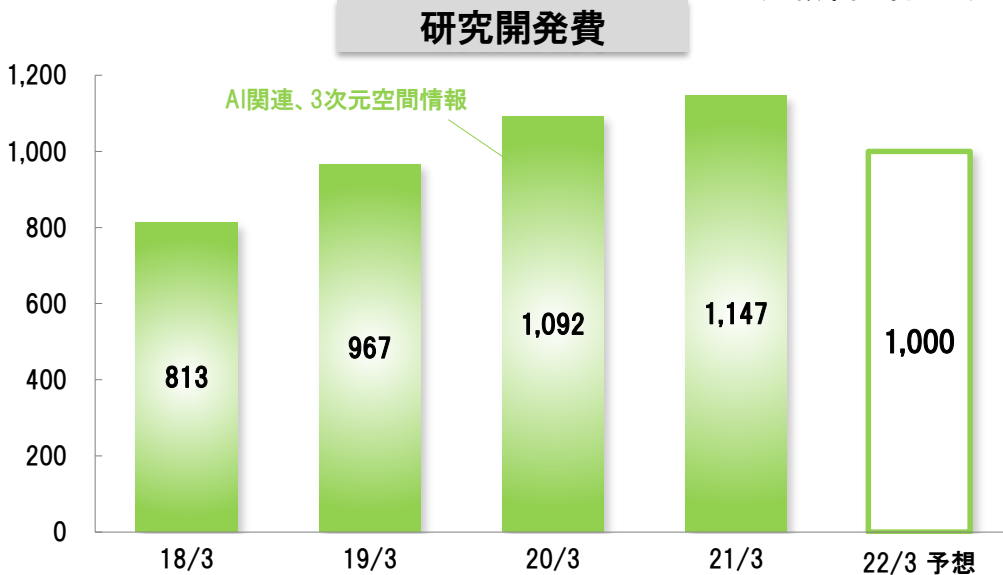
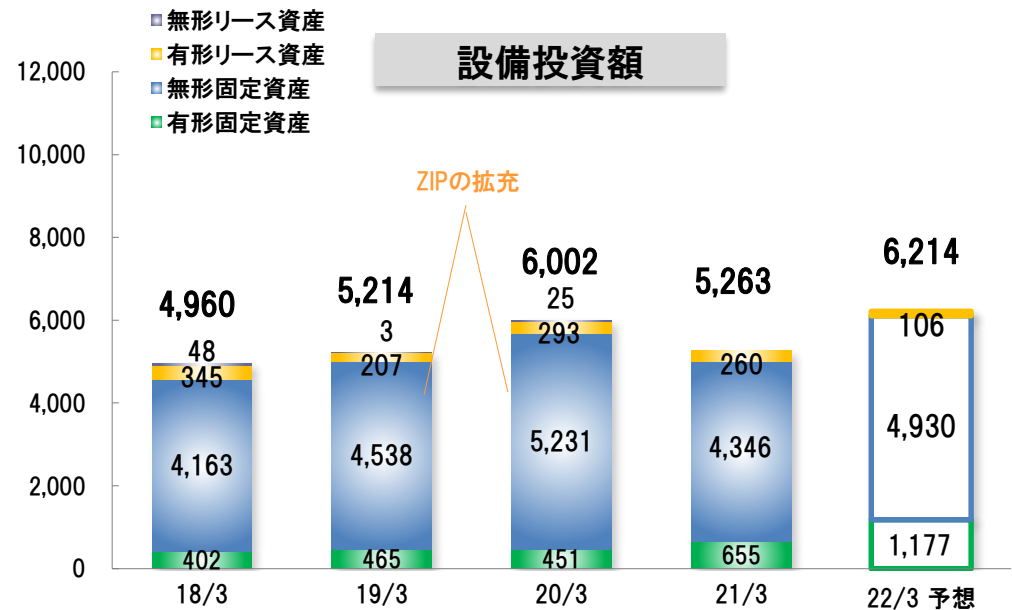
WEB

「らくらく販促マップ」

<https://www.zenrin.co.jp/product/category/spsupport/>

(金額単位:百万円)

3) 設備投資額・減価償却費・研究開発費



設備投資、研究開発費は
例年同水準を維持

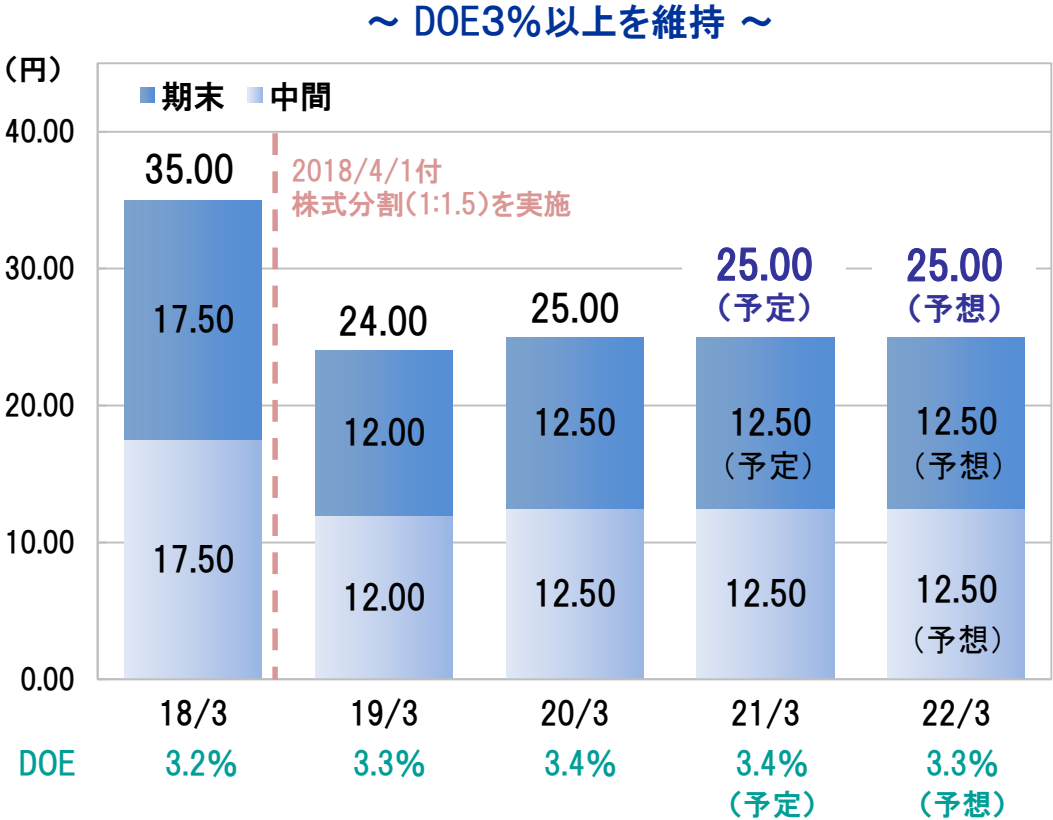
4) 配当金

基本方針

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2021年3月期配当金	
中間	12円50銭
期末	12円50銭 (予定)
年間	25円00銭 (予定)

2022年3月期配当金(予想)	
中間	12円50銭
期末	12円50銭
年間	25円00銭



5) 自己株式取得

目的

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行と、資本効率の向上及び株主還元の強化

【2021年3月期 実績】

2020年4月28日 取締役会決議内容		実績	
取得期間	2020年5月1日～2021年4月30日	2020年5月1日～2021年4月30日	
取得株数	2,000,000株 (上限)	1,600,600株	(80.03%)
取得金額	3,000,000,000円 (上限)	2,022,223,700円	(67.41%)

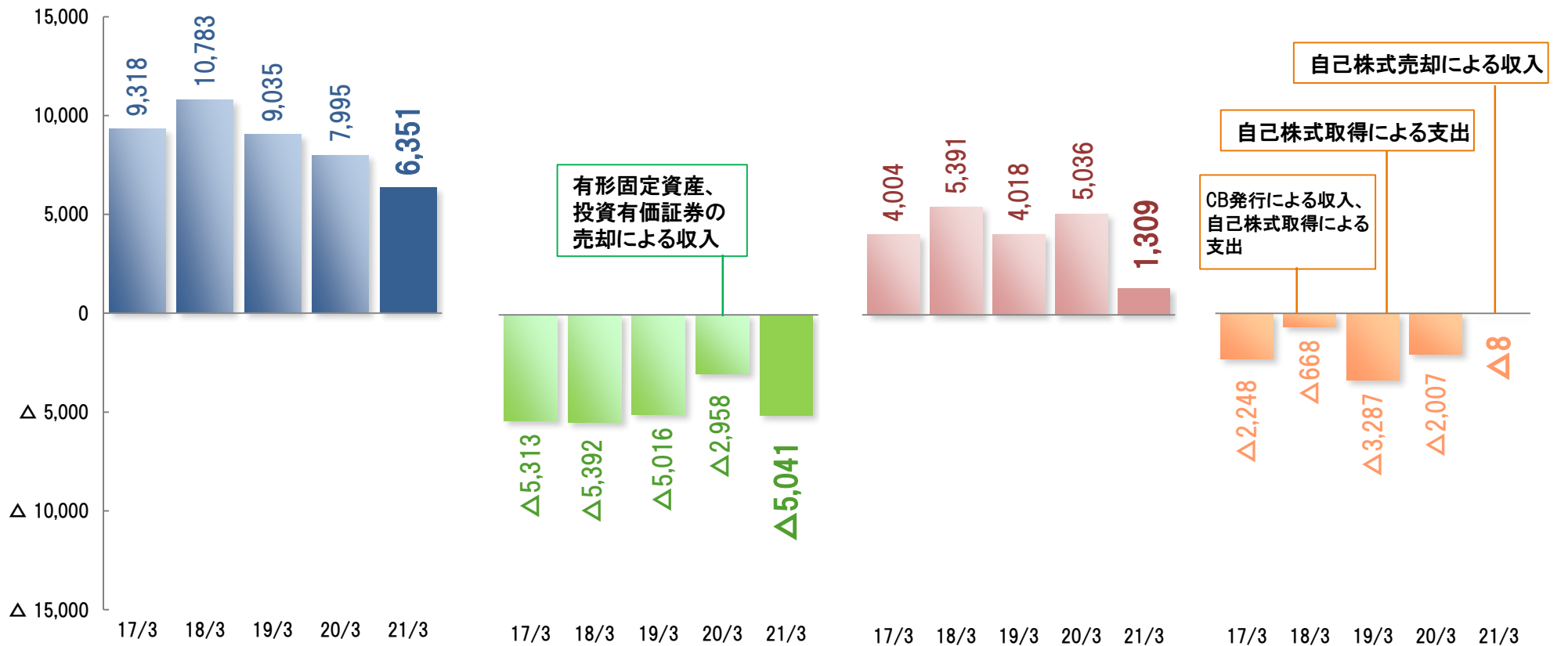
【2022年3月期 予定】

2021年4月28日 取締役会決議内容	
取得期間	2021年5月6日～2022年3月31日
取得株数	1,000,000株 (上限)
取得金額	1,500,000,000円 (上限)

(金額単位:百万円)

6) キャッシュ・フロー推移

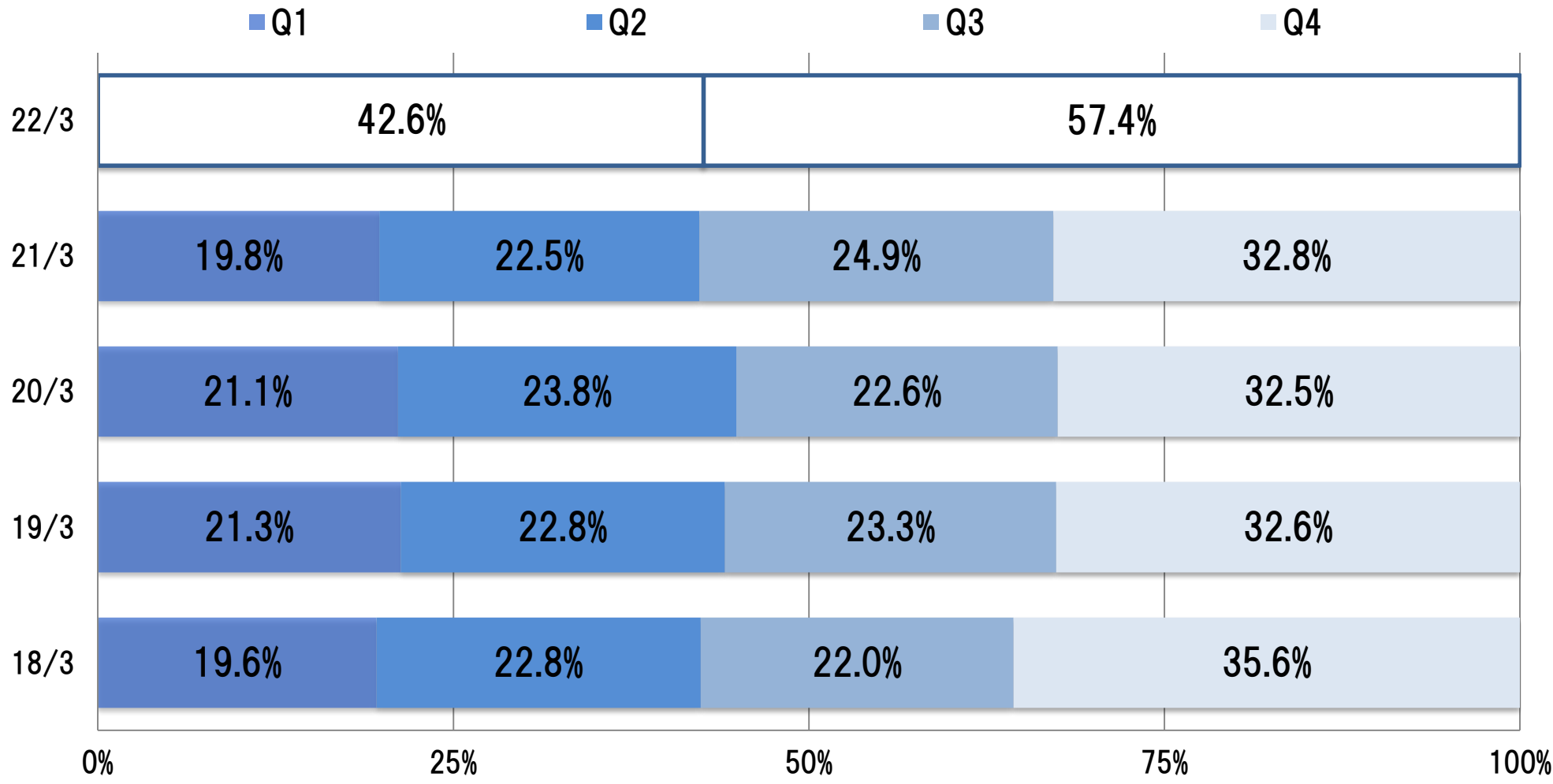
	営業CF	投資CF	フリーCF	財務CF
	6,351	△,5041	1,309	△8
前期比	1,643収入減少	2,082支出増加	3,726収入減少	1,998支出減少



期末現預金: 16,529

7) 四半期売上高構成比推移

2021年3月期 決算説明資料



8) セグメント情報

売上構成比率

85.2%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳及び応用地図の製造・販売
住宅地図データベース及びカーナビ用データの製造・販売
インターネットサービス向け地図データの製造・販売
スマートフォン向けサービスの提供



3.9%

2. 一般印刷関連事業

主要品目等：一般印刷物の製造・販売



10.9%

3. その他

主要品目等：マーケティングソリューションの提供
仕入商品の販売



※2021年3月期第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っています。

8) セグメント情報:地図データベース関連事業

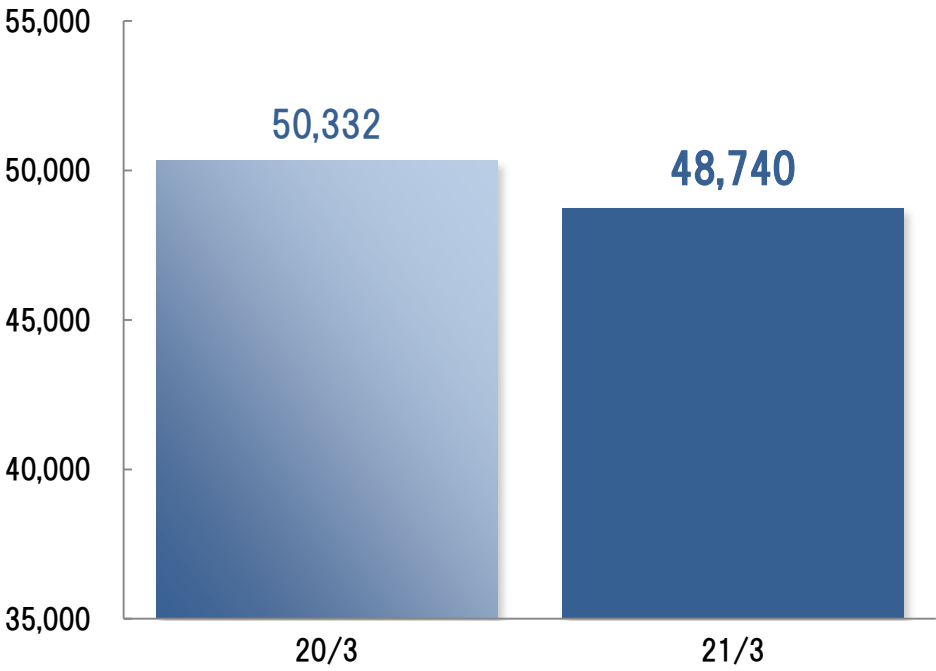
2021年3月期 決算説明資料

(金額単位:百万円)

売上高

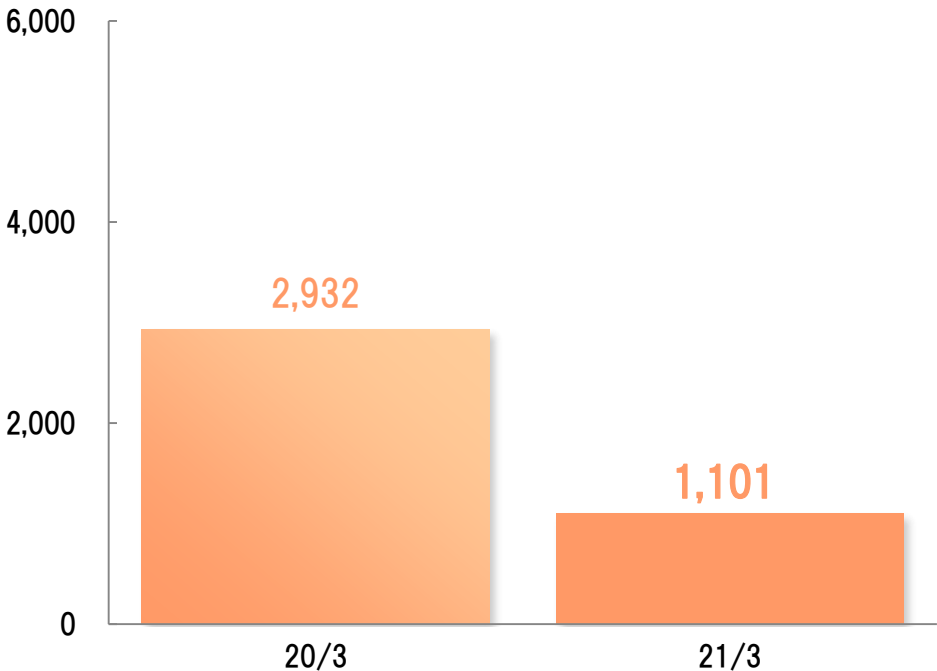
前期比

1,591減少 (△3.2%)



営業利益

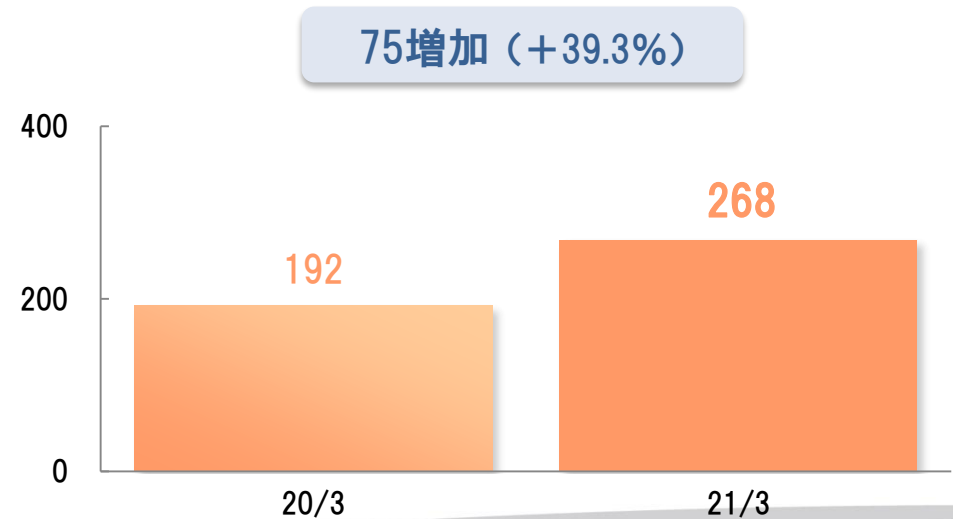
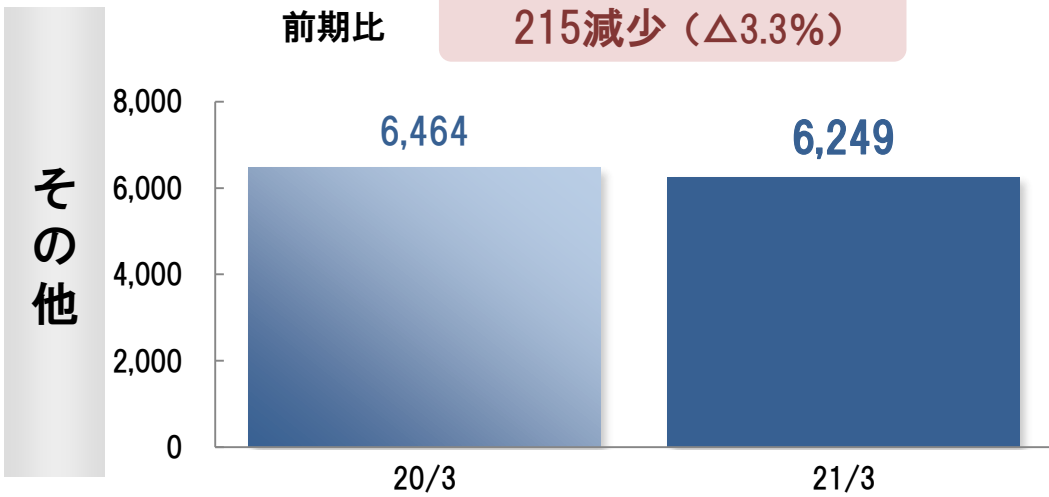
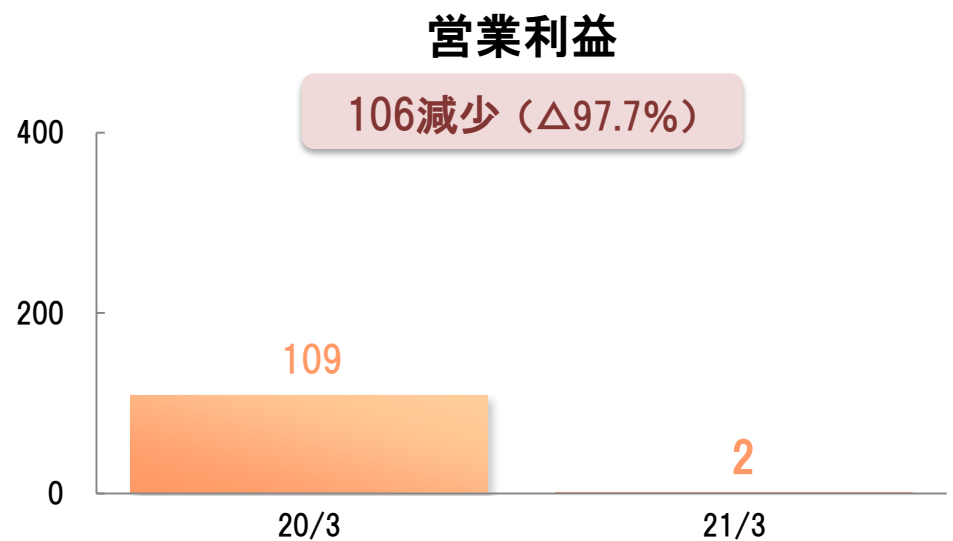
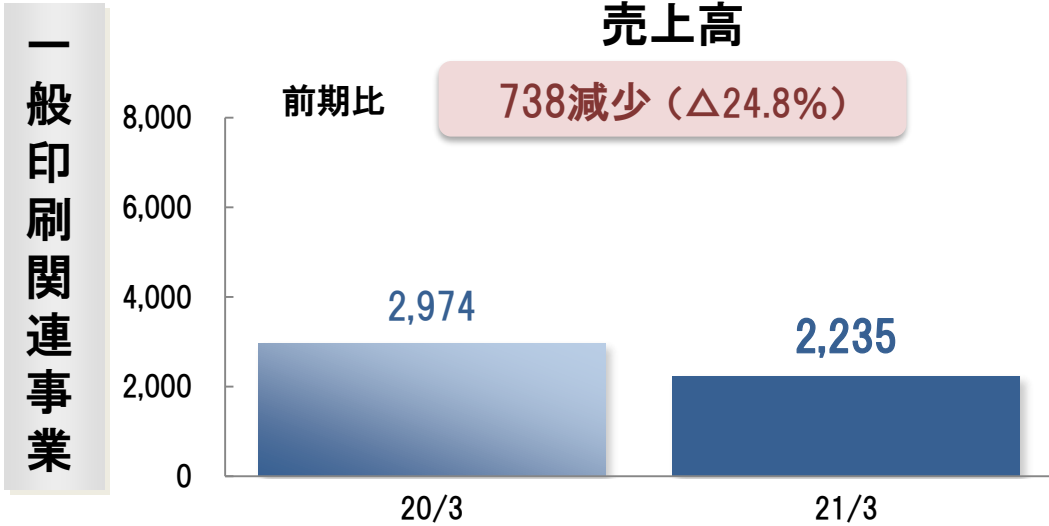
1,831減少 (△62.5%)



- 企業・自治体向けの受託案件やGISパッケージが堅調に推移したものの、カーナビゲーション用データの販売等が減少し減収
- 人件費や営業活動費用が減少したものの、減収に加え、先行投資費用が増加したことなどにより、減益

(金額単位:百万円)

8) セグメント情報: 一般印刷関連事業・その他



※2021年3月期第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行っており、前年同期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値としています。

9) 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

<2021年3月期 Q1>

リリース日	タイトル
4月1日	株式会社ゼンリンマーケティングソリューションズ 4月1日始動 (ZMS)
4月3日	ゼンリンデータコムとライナロジクスが業務・資本提携 (ZDC)
4月13日	日本電信電話株式会社への第三者割当による自己株式の処分の払込完了に関するお知らせ
4月15日	パナソニック製カーナビ更新地図2020年度版「JAPAN MAP 20」を7月2日(木)から順次発売
4月22日	ゼンリンとMobility Technologiesが、道路情報の自動差分抽出の共同開発 を行うことに合意
4月28日	自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ
5月13日	「ドコモ地図ナビ powered by いつもNAVI」において、混雑が一目でわかる地図機能「混雑度マップ」の無料提供を期間限定で開始 (ZDC)
5月26日	歴史を映し出す地図の博物館「ゼンリンミュージアム」2020年6月6日(土)にオープン
5月27日	「ゼンリン住宅地図出力サービス」にCADソフトで利用できるDXF形式が新登場
6月4日	「ゼンリン住宅地図出力サービス ラージサイズ」に、「ラミネート加工」と「ホワイトボード加工マグネットシート」が新登場
6月9日	ゼンリンがHERE Marketplaceと連携
6月12日	ゼンリンデータコムとTOKAIコミュニケーションズの戦略的業務提携について (ZDC)
6月17日	AIを活用した乗降客カウントソリューション「Customer Count AI」をリリース (WST)
6月19日	公共交通事業者様向けのAIソリューション・Will-AI for Transportationの第一弾として「駅AIカメラソリューション」をリリース (WST)
6月24日	建設業の設計業務を効率化する地図配信サービス『ZENRIN GISパッケージ 建設 for 設計』を全国で販売開始
6月25日	AIを活用した道路附属物点検表作成サービス「みちてんスナップ」の提供を開始 (ZDC)

9) 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

<2021年3月期 Q2>

リリース日	タイトル
7月1日	地図・ナビゲーションサービス「いつもNAVI web」がリニューアル（ZDC）
7月2日	「ゼンリン住宅地図 LGWAN 防災パック」河川情報を加え、7月2日（木）にリニューアル
7月17日	ゼンリンデータコムとグッドクリエイトが業務提携（ZDC）
7月22日	大手町・丸の内・有楽町地区でバリアフリーに関する取り組みを推進
7月29日	『3D地図データ』DXF形式での提供開始。日本全国の地図データをCADソフトで利用可能に
8月7日	東京都「データ利活用実証プロジェクト（官民連携 DPF コア事業実証プロジェクト）」の事業者にゼンリングループが選定
8月21日	沖縄全域における観光型MaaS実証事業が、国土交通省の「令和2年度日本版MaaS推進・支援事業」に選定
8月27日	Mappedin社が提供する屋内デジタルマップサービスをZDCの商材ラインナップに追加（ZDC）
9月10日	セイワから発売開始されるARエンジン搭載次世代型16GBポータブルナビゲーション「PIXYDA」にナビゲーションアプリが採用（ZDC）
9月24日	地域住民の避難活動を支援する「ゼンリン自主防災マップ」10月2日（金）よりゼンリンオンラインストアで販売開始
9月25日	チラシの作成から配布まで 中小個店の販促活動を支援！ “らくらく操作でお手軽販促”をコンセプトに「らくらく販促マップ」をリリース
9月28日	MONET Technologiesが提供する『MONETマーケットプレイス』で「いつもNAVI API」の提供を開始（ZDC）
9月30日	三井E&SマシナリーとZDCが港湾クレーンの点検にドローンを活用する実証実験を実施（ZDC）

9) 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

<2021年3月期 Q3>

リリース日	タイトル
10月13日	AI自動配車とゼンリンの住宅地図データを活用したきめ細やかなルート案内で運送・配送業務の効率化を支援する「ZENRIN ロジスティクスサービス」を10月15日(木)にリリース
10月15日	-スカパーJSAT・ゼンリン・日本エ管- 衛星×地図データ活用し水害等を予測・減災 国内初の『衛星防災情報サービス』提供に向けて業務提携
10月21日	10月23日(金)より 建設業界のBIM/CIMを支援する「ゼンリン 3D地図データオンライン提供サービス」にて3D DXFデータを提供開始!
11月4日	BIツール「Domo」向けの地図アプリ『Zenrin-datacom Map』をDomo内のApp storeでリリース (ZDC)
11月10日	マップデザインブランドの新商品27種をZENRIN Storeで販売開始
11月10日	ゼンリンデータコムとA.L.I.Technologiesが業務提携 (ZDC)
11月11日	ゼンリンデータコムとラフルが業務提携 (ZDC)
11月17日	ゼンリンデータコムとファーストグループが業務提携 (ZDC)
11月20日	ゼンリン製地図を搭載したパナソニック製カーナビ「Strada(ストラダ)」用 ダウンロード版更新地図を、12月3日(木)から販売開始
11月30日	ゼンリンデータコムとboost technologiesが業務提携 (ZDC)
12月1日	東京都 令和2年度官民連携データプラットフォーム運営に向けた準備会「施設系混雑ワーキンググループ」において東京都と協定を締結
12月2日	日本初、ドローンと生産者マップを活用した農産物の自動集荷と即売のサービス実証に成功
12月3日	『Strada専用 更新地図ダウンロードデータ』本日発売開始
12月15日	マップデザインブランドの新商品10品目を販売開始
12月15日	ゼンリンの時空間データベースを最大限に活用したAPI「ZENRIN Maps API」による各業界向けソリューションを提供開始
12月23日	沖縄全域における観光型MaaS実証事業「沖縄MaaS」のサービスが12月23日(水)より開始

9) 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

<2021年3月期 Q4>

リリース日	タイトル
2月2日	福島県の3自治体と全国の8企業、「福島県浜通り地域における新しいモビリティを活用したまちづくり連携協定」を締結
2月5日	マップデザインブランドの新商品14品目を販売開始
2月15日	ゼンリン初の学習指導要領に沿った小学校の教材 地図上で学ぶプログラミング教材「まなっぷ」の提供を開始
2月18日	Will Smartが岡崎市のスマートシティプロジェクトの一環としてデジタルサイネージの視認計測を行うAIカメラソリューションを提供（WST）
2月19日	-ゼンリン、横浜ゴム、アルプスアルパイン- 3社共同でタイヤ・路面検知システムの実証実験を開始
3月10日	ゼンリンの「3D高精度地図データ」がHondaで世界初の自動運転レベル3を実現する「Honda SENSING Elite」を搭載した「LEGEND」に採用！
3月11日	株式会社ゼンリンフューチャーパートナーズを設立 コーポレートベンチャーキャピタル事業へ進出
3月17日	沖縄全域における観光型MaaS実証事業「沖縄MaaS」のサービスPhase2を3月17日（水）より開始
3月18日	埼玉県初！Society5.0社会の実現に向けた令和2年度秩父市山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業「秩父モデル」構築を強力に推進
3月22日	ゼンリンデータコムと銀座農園が業務提携（ZDC）
3月23日	長崎市にて観光型MaaSの実証実験を開始！
3月26日	自分の町を知り、自分の街を創る「地図ぬり絵 スターターキット 小倉駅周辺・門司港」発売
3月29日	「いつもNAVIラボサイト」で、東芝のシミュレーテッド分岐マシンを活用して最適なルートを提案する“旅程最適化サイト”を無償公開（ZDC）
3月30日	東京センチュリー株式会社と業務提携契約締結
3月31日	Will SmartとENEOS株式会社が資本業務提携（WST）

9) 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

<2022年3月期 Q1～>

リリース日	タイトル
4月5日	コーポレートベンチャー投資ファンド「ZFP第1号投資事業有限責任組合」を設立
4月16日	建設業界におけるBIM/CIMの業務効率化を支援する「ゼンリン 3D地図データオンライン提供サービス」に新機能登場
4月19日	エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社と業務提携
4月20日	“道の駅を記録し、記憶に残す” 新サービス「道ゆき」4月22日(木)より提供開始
4月21日	各業種の業務を効率化する地図配信サービス「ZENRIN GISパッケージ」シリーズが続々リニューアル
5月14日	ゼンリンの時空間データベースを活用したAPI「ZENRIN Maps API」にて新機能を提供開始
5月20日	ゼンリンと日立、長崎市での観光型MaaS実証実験に向け協業を開始

※ZDC:(株)ゼンリンデータコム、ZMS:(株)ゼンリンマーケティングソリューションズ、WST:(株)Will Smart

※詳細は当社ホームページをご覧ください (<https://www.zenrin.co.jp/information/>)

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>
IR問い合わせMail: zenrin-ir@zenrin.co.jp